

令和 6 年度第 1 回 運営推進会議議事録
(看護小規模多機能介護・認知症対応型共同生活介護 合同開催)

事業所名（種別）	「ずいうんホームねりま」（種別：看護小規模多機能介護）		
所在地	練馬区高松 3-10-8		
開催日時	令和 6 年 11 月 28 日 木曜日 14:00 ～ 15:00		
開催場所	「ずいうんホームねりま」1 階フロア		
出席者内訳	利用者	1 名	M 様（看護小規模多機能介護）
	利用者家族	3 名	S 様奥様（看護小規模多機能介護） K 様奥様・娘様（認知症対応型共同生活介護）
	民生委員・町会役員・地域代表	1 名	江川様（高松 2 丁目・民生委員）
	知見者	0 名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	2 名	光永様（練馬区高齢施策担当部） 池上様（練馬高松園地域包括支援センター・生活コーディネーター）
	事業所職員	10 名	久保田（管理者）・米山（看護師）・窪田（理学療法士）・折橋・リンダ・長谷川・ティリ（介護士）・菅野（事務員）・藤田・土谷（介護支援専門員）
	その他	1 名	T 様（近隣住民）
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	1, はじめに （１）運営推進会議の意義 （２）構成員の紹介 2, 事業運営の基本方針 3, 利用者の構成（年齢、要介護度等） 4, 活動内容 5, 事故報告（発生状況、再発防止策等） （１）認知症対応型共同生活介護（グループホーム） ア、夜間のベッドからの転落 （２）看護小規模多機能介護 ア、洋服の取違い 6, 地域連携の取り組み （１）「高松地域づくり」企画会への参加 （２）「地域ケアセンター会議」等への参加 （３）「小規模・グループホーム運営状況懇談会」への参加 （４）「学童クラブ」への働きかけ （５）その他（「高松クラブ」参加のお手伝い） 7, 意見交換 8, アンケートのお願い		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	○事業運営の基本方針 ・「明るく家庭的な生活空間。ぬくもり溢れる環境づくりを目指します。」 ・ユニット型で中央にキッチンを設置している。利用者が孤立することのないように工夫をしている。家庭的な雰囲気を出している。 ○利用者の構成（年齢、要介護度等） ・要介護 5：4 名・要介護 4：4 名・要介護 3：0 名 ・要介護 2：1 名・要介護 1：1 名・申請中：1 名（合計 11 名） ・最高齢：90 歳・最年少：65 歳・男女比：6:5 ○活動内容 ・日常的な介護のほか、昼、夕と 2 回ラジオ体操を行っている。		

	・特別医療行為も行っている。排便コントロールも行っている。 ・理学療法士がおり、個別に機能訓練をしている。 ・レクリエーション活動も行っている。日中にお散歩をしている。配車で秋祭りにも参加している。 ・イベント食として、ホットケーキやカレーを作り、良い匂いを楽しんでもらっている。 ・常食はやわらかめ。きざみ食。ミキサー食。柔らかくして潰した加工味が濃い。 ・訪問理美容、訪問マッサージの調整も行っている。 ・訪問診療は提携先の高田馬場病院と連携をしている。 ・訪問歯科は、お口で食べてほしいとのことで嚥下評価ができる所と連携をしている。 ○事故報告（発生状況、再発防止策等） ・洋服の取違いが多い。名前の記入やチェックを徹底している。 ○地域連携の取り組み ・「高松地域づくり」は、会場として開催を誘致し、職員、利用者の参加を促している。 ・「学童クラブ」は、高松小学校の第二学童クラブ（練りっこクラブ）と交流がある。12月20日15時過ぎにクリスマス会を実施し、招待をしている。
出席者からの評価	・主人が世話になっている。自宅に戻る時間を作ってくれて、ありがたい（S様奥様）。 ・「高松地域づくり」は、場所を提供してくれて、ありがたい。一緒に地域を盛り上げていけたらと思う（池上様）。
要望、意見および助言と事業所の回答	・利用者が楽しみを持てるよう引き続き工夫をして欲しい（S様奥様）。 →今後も工夫をしていく。子ども（大人も）食堂の開催、皆で夕飯を食べるなども考えている。高松クラブのボランティアにも依頼をしている（久保田）。 ・お風呂が無料の施設がある。そういうのを利用できないか（T様）。 →今のところ考えていないが、検討の余地はある。
その他	今後も、各ご利用者の生活リズムに合わせたサービスをしていく。
次回の開催予定	日時：令和 7 年 1 月 末日 曜日 14：00 ～ 14：30 場所：「ずいうんホームねりま」